

西濃桃李高等学校 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	日本史B	単位数	4 単位
対象学年	第 3 学年				
授業担当者					
使用教科書	新選 日本史B 東書	副教材	新選日本史Bワークノート		
スクーリング	必要出席時間数	4 単位 × 1	= 4 時間以上	スクーリングとレポートを両方合格 することで履修が認められる。	
レポート	必要提出枚数	4 単位 × 3	= 12 枚		
期末試験	合格得点目標	20	点以上	考査範囲のスクーリング受講とレポート提出が受験要件	

【科目の目標】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
我が国の歴史の展開を、諸資料にもとづき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察する。	各時代の特色とその変遷の総合的考察を通じて、我が国の文化と伝統の特色についての認識を深める。	歴史的思考力をつちかい、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

【年間指導計画】 ※学習方法欄の○は週5週3、□は週1在宅・配当時間は週5生を基準とする。

月	指導単元・項目	学習方法			レポート (※切期日)	評価の観点			配当 時間
		スクーリング	レポート	試験		知	思	主	
4	第1章「古代国家の形成と貴族文化の誕生」1節「原始社会の生活と文化」2節「農耕社会の形成と大陸文化の摂取」3節「律令国家の形成と古代文化の展開」	○	○□		No. 1 4/30	○	○	○	10
5	第4節「摂関政治と文化の和様化」	○	○□		No. 2, No. 3 5/31	○	○	○	10
6	第2章「武家社会の形成と生活文化のめばえ」1節「中世社会の成立」	○□	○□		No. 4, No. 5 6/30	○	○	○	10
7	3章「近世社会の形成と庶民文化の展開」1節「ヨーロッパ文化との接触と国内統一」2節「幕藩体制の成立」	○□	○□		No. 6 7/13	○	○	○	6
8									
9	前期期末試験 第3節「近世社会の発達と町人文化」 4節「幕藩体制の動揺と庶民文化の発達」		○□	○□	No. 7 9/29	○	○	○	6
10	第4章「近代国家の形成と国民文化の発展」 1節「開国から明治維新へ」 2節「立憲政治の形成と国民文化」		○□		No. 8, No. 9 10/31	○	○	○	12
11	3節「日本の近代化と東アジア」 4節「デモクラシーと第一次世界大戦」5節「激動する世界と日本」 第5章「現代の世界と日本」 1節「占領と国内改革」	○□	○□		No. 10, No. 11 11/30	○	○	○	10
12	2節「国際社会への復帰と高度経済成長」3節「石油ショックと低成長の時代」4節「新しい国際秩序と日本の課題」	○□	○□		No. 12 12/13	○	○	○	4
1	後期期末試験(3年)			○□		○	○	○	